



岩野田北まちづくり協議会

昨秋の晴れ渡った秋空の下、地域をドローンにより空撮しました。



私たちのまちを育み、明日に繋ぐために

岩野田北まちづくり協議会
会長 松久 忠弘

新型コロナウイルスにより、経済活動、日常活動のみならず、地域のまちづくりは、多大なる影響を受けています。岩野田北地区でも、昨年に続き今年度も防災訓練、敬老会、スポーツ広場をはじめ、活動・行事の多くが中止となりました。子どもたちがあれほど楽しみにしていた恒例の夏まつりや、秋のウォーキングまでもが中止せざるを得ませんでした。

そんな中、昨年度策定した地域ビジョン、10年後の岩野田北地区のあり方を見据え、まちづくりの具体的な方向性を取りまとめるものを、今年度より計画の最初の事業として「あいさつ運動」をスタートしました。コロナ禍の中、様々な事業が中止になるといふこの時に、まちづくりの活動を見直し地域の絆を育むための大事な事業と認識し協議会一同で取り組むことにしました。この「あいさつ運動」も基本的な地域の事業として単年度ではなく長期に渡り推進していく事業として取り組みます。今年度はスタートの第1歩として、ポスター及び標語を小学生を中心に地域の皆さんから募集し、審査、表彰の上、地域に所在する公共施設、金融機関、福祉医療関係施設、商業店舗等多くの事業所の皆様に協力のもと、募集されたポスターを展示することができました。厳しい時期を迎えたからこそ、この「あいさつ運動」から、昨年度策定された「地域まちづくりビジョン」の沿ったまちづくりが地域にしっかりと根を張り、皆で力を蓄え、共に花開き、大きな実を結ぶため、引き続き岩野田北のまちづくりに対しまして、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

◎ 地域まちづくりビジョン策定

昨年度、1年間をかけ皆さんの意見を聞いて、地域の声として取りまとめています（以下抜粋）。

「みんなで描くふるさと夢野の未来図」
岩野田北まちづくりビジョン 2030-2040

3年計画
5年計画
7年計画

① 住民と市でビジョンを共有・協働を推進
② 防災・防災とまちづくり
③ 自治会・各種団体等の連携
④ 「この指とまれ」で広がる絆

① 安心・安全・絆のまち
② 健康・快適な暮らしのまち
③ 人と地域を育むまち
④ まちづくりサロンを開催します。

令和3年度（今年度）新規事業

◎ 「岩野田北あいさつ運動」実施開始 初年度

まちづくりの絆の創生と言うよりも、地域の基本的な生活習慣というべきあいさつを周囲のみんなが、いつでもどこでもだれにでも、笑顔で交わらせるような地域になるよう推進していきます。

応募作品のうち最優秀賞2点



応募作品のうち優秀賞7点



～周りを山々に囲まれ、中央を鳥羽川が流れる自然豊かな地区～

岩野田北自慢
岩野田北はこんなまち・・・川はきれいで山々の緑も季節のたびに美しく変化します。恵まれた自然とともに子供たちはのびのびと周りの大人たちと仲良く過ごすことのできるまち。多くの医療機関やスーパーも立地し、生活利便性の高い地域の魅力を発信していきます。
令和2年度よりホームページ開設（「HP」のトップページより掲載）



コミュニティバス“ぐるっとバス”で、一周してみませんか？

◎青パトによる防犯活動の継続的実施
平成21年度から自治会連合会を中心に、各種団体、住民有志の協力のもと、地域の防犯に取り組み、コロナ禍の中においても継続的に活動しています。



◎「まちづくりサロン」の定期的開催
毎月第三日曜日午後1時から公民館で、みんなが気軽に参加し、話し合い、まちづくりに生かしています。



◎「岩野田北まちづくり協議会」ホームページの開設運営
地域の情報を蓄積・共有・発信します。また、世代を超えて、まちづくりを継承します。皆さんからの情報提供を待っています。



岩野田地区と協働で運営するコミュニティバス“ぐるっとバス”は、運行を開始して1年。市街地からは、岐阜バスの下岩崎バス停から乗り継いで、「三田洞神仏温泉」、「ながら川ふれあい